

JOMF 派遣医師便り (2018. 5)

◆マニラ◆

「麻疹が心配で来院しました、
“ええーうそでしょう、デング熱だなんて”」

マニラ日本人会診療所
菊地 宏久

先月号の JOMF ニュースレターで書きましたが、マニラでも麻疹が流行しています。マニラ在住の日本人も数名発症しました。

“発熱と発疹が出たら麻疹かも、受診を！”という日本からのニュースが患者さんの耳に残っているのでしょうか、先月は麻疹を心配して来院する患者さんが多かった印象です。

当地では麻疹に限らず風疹、水痘などは年間を通して患者さんの発生が認められますが、この数週間は日本での麻疹流行報道の影響で麻疹ワクチン接種についての質問も増えていきます。

麻疹は風邪症状・発熱・発疹を伴う疾患で、人から人へ空気感染する極めて感染力の強い病気です。当地では発熱・発疹を伴う病気で絶対に忘れてはならない疾患にデング熱があります。デング熱の発疹の形態や病状経過は麻疹とは異なりますので臨床的に鑑別は容易です。しかし風邪症状のある患者さんがデング熱を併発した場合には、臨床症状だけでは鑑別が困難な場合もあります。今回はそのような症例を経験しました。患者さんは麻疹だと思って来院したら実はデング熱だったという症例です。

その土地ごと、国ごとに疾患の流行状況や特徴を把握していることの重要性を再認識しました。皆さんお大事になさってください。